



36歳



プロフィール

民主党・県民ネットワーク所属

唐崎中、膳所高、龍谷大学法学部政治学科 卒業
同志社大学大学院総合政策科学研究科 修了
民主党滋賀県支部連合会 青年局長
滋賀県議会議員 (大津市選挙区) 1期

大津市消防団唐崎分団 団員
唐崎学区体育振興会 常任理事
唐崎学区スポーツ少年団 事務局
滋賀県トランポリン協会 会長

大津子ども環境探偵団エコリーダー幹事
社団法人大津青年会議所 理事
スペシャルオリンピックス日本
滋賀設立準備委員会 事務局

〒520-0006 大津市滋賀里4-19-17 TEL: 077-524-8234 FAX: 077-524-8235 e-mail mail@narinari.net URL http://www.narinari.net

成田セイリュウから、みなさまへのお願い

- 滋賀県・大津市に関するご質問、ご意見をお寄せください。
- 活動や報告についてのご意見、ご感想をお待ちしております。

- 成田セイリュウ後援会に入会いただくと、定期的に県議会活動レポートを送付いたします。ぜひともご参加ください。
- ボランティアスタッフを募集しております。



二月定例会 一般質問

成田セイリュウ 県政報告会開催

3月19日(土) 会場: 唐崎市民センター
時間: 19:00~

成田セイリュウの県政活動をご報告させていただきます。ぜひ、ご来場ください。

現在、日本において、新就職氷河期であり、12月末現在の県内高等学校卒業予定者の就職内定率は83.9%、県内8大学12月1日現在の就職内定状況は68.3%と厳しい状況であります。

また政府の年金、福祉・医療、教育等の諸制度ごとに、税金や保険料として各年齢の平均的個人がどれだけの金額を負担し、現金給付やサービスとしてどれだけの額を受益しているかを計測する「世代会計」においても、将来世代は現在世代の約8倍の生涯純負担を負うことになるとされ、将来世代が生まれた瞬間に受け取る我々からの請求書には1億2200万円と記載

されているともいわれております。

滋賀県においても、県債残高もとうとう1兆円を超えてしまいました。我々の孫子のお金を当てにせず、世代間不均衡の是正に向けて、今すぐ取り掛からなければなりません。時代の変遷が激しい中ではありますが、我々は将来に対し、しっかりと議論を行い、子どもを産み育てやすい環境を整備するとともに、子ども・若者の活躍する場を充実させることによって、未来に夢と希望が描ける社会を築いていかなければなりません。

滋賀県議会議員 成田 政隆

未来への責任

命をまもり、環境をはぐくむ

子ども・若者施策について

▶ 成田 将来の滋賀の人材を育成するために、子どもたちに様々な体験や活動の場を提供することが必要であると考え、今後どのように取り組んでいくのか？

▶ 知事 子どもたちには、自然・文化や地域貢献など様々な体験や活動をする中で、気づき、考え、実践する力を伸ばしてもらいたいと考えており、特に子どもたちの、3つの要素を育成していきたいと考えている。

1. 自分の意見をしっかりと持つこと
2. 社会の一員としての意識を育むこと
3. 自らの持つ力を発揮していけるような自信や誇りを身につけること

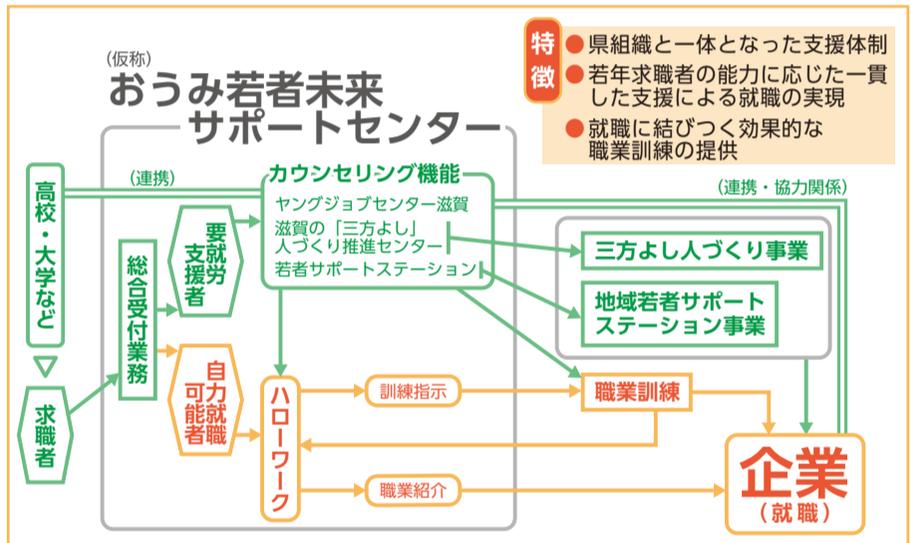
▶ 成田 どのような職業教育を行い、働くことへの意識付けを行っていかれるのか？

▶ 知事 学校教育においては、将来への夢やあこがれを持つことができるよう、身近な人の役割モデルを見ながら、職業や人となりを学ぶということが大切である。教育委員会や経済団体等と密接な連携をとり、将来を見据えた進路選択できる力や望ましい勤労観・職業観を育成していけるよう、キャリア教育・職業教育のさらなる充実に向けて支援をしていきたい。

▶ 成田 潜在するニートに対してどのように接点を持たれ、支援をしていくのか？

▶ 商工観光労働部長 保健所や医療機関、民生委員・児童委員協議会などの関係機関とともに、「ニート問題連絡会議」を設置して、課題の検討や支援を行っている。若者に対する就労支援機関を一体化する「おうみ若者未来サポートセンター」において、ワンストップで、相談から就職までの一貫した支援を行って、若者の就労を促進していく。

若年求職者就職支援事業について



提案した案件の来年度の取組み

● 09年6月定例会：ビワイチの普及促進について
ビワイチ(琵琶湖一周)自転車ネットワーク整備計画策定(400万円)
びわ湖サイクルロードから観光地等へのアクセスネットワークを検討し整備計画を策定する。

● 09年11月定例会：ニート対策について
地域若者サポートステーション支援事業(300万円)
就労が極めて困難な若者の就職を促進するため、国の委託で設置される地域若者サポートステーションにおける国の相談支援に加え、県単独事業として臨床心理士によるカウンセリング、県内企業での就労体験、訪問支援等を実施する。

● 10年9月定例会：危機管理センターの整備について
(仮称)危機管理センター基本計画策定事業(928万円)
様々な危機事案に迅速・的確に対応するため、県の危機管理機能の充実を目指して、識者や防災関係者、県民など幅広く意見聴取をしながら、災害対策の拠点となる危機管理センターについて検討し、基本計画を策定する。

活動アルバム 成田セイリュウ



大津市消防出初式に参加



びわこレイクサイド
マラソン出場



スペシャルオリンピックス
日本滋賀設立準備委員会
支援自販機除幕式



大津市民ヨシ刈りに参加



事務所を開設しました
またお越しくささい